

アルジェリア政治・経済月例報告  
(2017年11月)

平成29年12月  
在アルジェリア日本国大使館

1 内政

- 1日、ブーテフリカ大統領はフランス植民主義に対する革命63周年記念日に際し、政治的多様性の中で我々が勝ち得たものの保持を呼び掛け、革命の叙事詩は永遠である等と声明。
- 同日、ブーテフリカ大統領、エル＝アーリヤ墓地の革命殉教者の碑に献花。
- 2日、ガイド・サラ国軍参謀総長主催の革命63周年記念式典にウーヤヒヤ首相らが出席。
- 2日等、地方議会選挙運動のため各党党首が、全国各地を遊説。
- 22日、ブーテフリカ大統領、閣議を主宰し23日の地方議会選挙における投票を呼びかけ。
- 23日、地方議会選挙、投票。
- 24日、ベドゥイ内務・地方自治・国土整備大臣、与党FLN・RNDの勝利、及び2012年の地方議会選挙、2017年の国民議会選挙より投票率が高いことを示す選挙結果発表。

2 外交

- 7日、ウーヤヒヤ首相、来訪したガーリー・ポリサリオ戦線事務局長兼「サハラ・アラブ民主共和国大統領」と会談。
- 8日、ベドゥイ内務・地方自治・国土整備大臣はモーリタニアを訪問し、両国国境地帯の「ハーシー75」と呼ばれる地区に通過所を設置する合意に署名。
- 13日、ブグアドゥーム・アルジェリア国連代表部大使は、数週間後の国連総会を視野にした作業グループが活動を開始する前に、国連の透明性と機能強化のため、政治的決定における代表的な機関として国連総会の役割を強化することを非同盟諸国を代表して呼びかけた。特に、国連事務総長選出には透明性、民主及び包括性の枠組みに基づく必要があると述べ、今回の選出前の非公式協議を称賛。
- 15日、1988年アルジェで開催されたパレスチナ議会におけるアラファト議長によるパレスチナ国家樹立宣言29周年に際し、ブーテフリカ大統領はアッバース大統領に祝電を送付。
- 17日、メサヘル外務大臣、貿易・投資、安全保障及びグッドガバナンスに

関する米アフリカ閣僚級会合に出席。

### 3 治安

- 7日、ブイラ県において、軍による掃討作戦で銃撃の末、テロリスト2人を殺害すると共にカラシニコフ小機関銃2丁、弾筒4個及び双眼鏡1個を押収。
- 14日、アドラール県において、軍はテロリスト1人（T. モハメド、別称：セムセム・ムーサ）を逮捕。
- 15日、テベッサ県において、治安機関はテログループ支援ネットワークのメンバー3人（30歳から35歳）を逮捕し、弾薬多数と過激文書を押収。
- 16日午後、タマンラセット県において、軍はFMPK機関銃1丁、カラシニコフ小機関銃9丁、RPG7ロケット弾発射機1機、シモノフ半自動銃4丁、連発銃1丁及び大量の弾薬の隠匿場所1か所を発見・押収。
- 19日、ジジェル県において、軍は猟銃10丁、連発銃1丁、ポンプ銃1丁、爆弾22個、砲弾411個、種々口径銃弾269個、複数の起爆装置及び銃器用部品が隠匿されていた爆弾製造所2か所を破壊するとともに、テログループ支援者1人を逮捕。
- 28日、アドラール県において、軍は砲弾2個、推進薬1個、RPG7ロケット弾発射機1機、口径12.7ミリ重機関銃が設置された発射台2台、弾筒3個、銃弾帯5本、PKT重機関銃1丁、カラシニコフ小機関銃5丁、弾筒11個、シモノフ半自動銃2丁、手榴弾13個、起爆装置12個、種々口径銃弾2,932個等の隠匿場所1か所を発見

### 4 経済

- 2日、IMFのアズール中東・中央アジア局部長はアルジェリア政府が進める「非慣例的」な財政政策について、財政赤字の解決策にはならずインフレリスクを高めるとして否定的な見解を表明。
- 5日、ザアラーン公共事業・運輸大臣は2018年予算案において同省の整備開発予算として前年比507%増の3807億6千万ディナールが割当てられていることを明らかにした。シェルシェル港第一期工事に係る1500億ディナールも含まれる。
- 5日、ザアラーン公共事業・運輸大臣は国民評議会の予算委員会で、貨物輸送に限り航空・船舶分野への投資機会を民間企業にも開くと発表し、既に同省が法的手続きと仕様書の策定に取り組んでいると明らかにした。
- 6日、カドゥール・ソナトラック社会長はハッシ・ルメル石油化学プラントを視察した際、ロイター通信に対し、今後10年間当地で1億9000万立方メートル／日のガス生産を維持するために、20億ドルの投資を行うと述べ

た。

●7日、アルジェリアン・モーター・サービスとメルセデス・ベンツの合弁会社（AMS-MB）がルイバの工場で製造したトラック380台が国防省の装備指令部及び複数の私企業に納品されたことが報じられた。また、メルセデス・ベンツ社はEPE/ETUSA社と100台のバス生産に関するパートナーシップ契約に署名。

●8日、アルジェリア中央銀行のルカル総裁はAPSのインタビューの中で、2017年上半期の同国の国際収支が110.6億ドルの赤字（2016年下半期は114.2億ドルの赤字）で、2017年6月時点での外貨準備高は1062.92億ドル（2016年末時点1141.38億ドル）であることを明らかにした。

●12日、第4回アルジェリア・フランス合同経済委員会がアルジェで開催され、自動車産業、農業・食品産業及び電子産業における三つの協定が署名された。PSAプジョー・グループはアルジェリアの三企業と合弁会社を設立し、2018年よりオランで組立工場を操業することが明らかにされた。

●13日、当地財務省は2017年上半期の石油関連税収が前年同期比27%増の1兆1213億ディナール（前年同期8331億4千万ディナール）に上ったと発表。

●13日、OPECが発表している月例報告の中で、アルジェリアの原油生産量が2ヶ月連続で減少していることが指摘された。9月の平均生産量が105万バレル/日であったのに対し、10月は101万2000バレル/日。原因は不明。なお、昨年12月のOPEC協調減産でアルジェリアに割当てられた生産量は108万5000バレル。

●15日、テンマール住宅・都市計画大臣はモスクワで、ロシアとの都市計画分野での協力協定に署名。

●19日、アルジェリア航空のアレッシュ会長は従業員向けのレターを発表し、同社が経営危機にあることを認め、全従業員に対しナショナル・フラッグ・キャリア存続のために経費削減に務める等、責任ある行動を訴えた。

●20日、2017年1-10月期のアルジェリアの貿易赤字が95億ドル、前年同期比で34%減少したと発表された。輸出が前年同期比で17.1%増の286億7千万ドル、輸入は同1.8%減の381億8千万ドル。輸入抑制政策が続く中、食料品、揮発性燃料、農業用設備等の輸入の増加が目立つ。

●20日、LGエレクトロニクス・アルジェリが当地ボマール・カンパニーと共同出資して携帯電話の組立事業を開始したと発表した。当地での携帯電話生産は初となる。ボマール・カンパニーの代表者は、生産量は5000台/日で、2018年には輸出も開始されるだろうと述べた。

- 21日、アルカブ・ソネルガス社会長はアルジェリアからリビアへの電力及びその他サービスの輸出について、リビア電力公社（GECOL）と検討に入ったと発表。
- 22日、ブーテフリカ大統領は、エル・タルフ県ドレアンからチュニジアとの国境までの84キロにわたる東西高速道路の最終工区について、高速道路庁（ANA）と中国CITIC社との単純随意契約による公共調達を行うことを承認した。ザアラーン公共事業・運輸大臣は同事業の完成は2019年の初めで、840億ディナール規模の公共投資を必要とする旨発表。
- 24日、ボリビアのサンタクルスでガス輸出国フォーラムが開催され、ギトウーニ・エネルギー大臣が出席。
- 25日、中国フォトン（福田汽車）社と当地KIVグループの合弁企業がアンナバ県バルグガに建設した工場です2018年3月より事業用自動車及び重量車の生産を開始すると発表。当初年間3000台の生産を見込み、2028年までにアフリカ諸国へ1万台の輸出を目指すという。
- 26日、当地エクスプレシオン紙が、フィアット・アルジェリ社がアンナバ県ベッラハルの工場でももなく自動車の組立て生産を開始すると報じた。
- 26日、2018年予算法案が国民議会で可決。政府が導入を目指し注目を集めていた「財産税」は、15日に開かれた同議会の財政・予算委員会において、海外やインフォーマルな流通経路への資本流出を引き起こす恐れがある等の理由から反対にあい、法案から削除。なお、歳出は8兆6280億ディナール、歳入が6兆4965億8千万ディナール。通常税収が昨年比で約2500億ディナール、石油関連税収が同6千億ディナール増加。
- 30日、ウィーンで開催されたOPEC総会で、OPEC諸国と非OPEC諸国は協調減産を2018年末まで延長することで合意。アルジェリアからはギトウーニ・エネルギー大臣が出席。

## 5 日本との関係

- 8日付主要紙にてヤマニ元アフリカ体操連盟会長に対する旭日双光章の授与の決定の報道。
- 11月25、26日に沖縄で開催された空手世界オープンに、アルジェリア人選手4名が出場した。横領問題を巡り活動停止処分中のアルジェリア空手連盟に代わり、4名ともフランスのクラブチームのもとで選手登録を行っていたが、アルジェリア青年・スポーツ省はAPSの取材に対し4名の同大会出場に関して事前通告を受けていないと抗議の意を表明。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
11月1日 ～2日	フランス	ベンゲブリ国民 教育大臣	第39回ユネスコ総会に出席。 アズレー・ユネスコ次期事務局 長, レプス・エストニア教育相, ベン・サレーム・チュニジア教 育相と会談
11月4日	ロシア	アッベスFLN 書記長	第12回ロシア・フォーラムに 大統領代理として出席
11月5日 ～6日	エジプト	ベンサラ国民議 会議長	国際青年会議に大統領代理と して出席。エルシーシ・エジプト 大統領, アブデル・アジズ・モ ーリタニア大統領と会談
11月5日	アラブ首長 国連邦	メサヘル外務大 臣	シルバニヤス島フォーラムに出 席。アブダラーUAE外相, シュクリ・エジプト外相, サフ ァディ・ヨルダン外相, ムシキ ワボ・ルワンダ外相, マヒガ・ タンザニア外相, サラーメ・リ ビア担当国連特使, イスマール ・イエメン国連特別代表と会 談
11月6日	オーストリ ア	ルー法務・国璽 大臣	第7回国連腐敗防止条約加盟国 会議に出席。コートジボワール, ベルギー, イランの各法相及び エジプト国際協力相と会談
11月8日	モーリタニ ア	ベドゥイ内務・ 地方自治・国土 整備大臣	アブデル・アジズ・モーリタニ ア大統領, ハッダミン首相を 表敬。アブダラー同国内相と両 国国境に通過所を設置する合意 文書に署名
11月11 日	クウェート	エッダリア国民 連帯・家族・女 性大臣	第37回アラブ諸国社会問題閣 僚会議へ出席
11月13 日	ドイツ	ゼルアティ環 境・再生可能エ ネルギー大臣	COP23に出席

11月13日	アラブ首長国連邦	ギトゥーニ・エネルギー大臣	アブダビ国際石油展示会議（ADIPPEC）に出席
11月14日	エチオピア	ルー法務・国璽大臣	AU閣僚会議に出席。オッジャー・モロッコ法相，マストゥーザ・南ア法相，ブシンゲ・ルワンダ法相と会談
11月14日	ロシア	テマール住宅・都市計画大臣	第1回露アルジェリア・グループ会合に出席
11月15日	エジプト	メサヘル外務大臣	リビア問題三か国閣僚会合に出席。ジヒナウイ・チュニジア外相，シュクリ・エジプト外相，及びサラ・メリビア担当国連特使と会談。
11月16日	フランス	メデルシ憲法評議会議長	仏語圏憲法評議会・憲法裁判所協会の創設20周年記念祝賀行事に出席
11月17日	米国	メサヘル外務大臣	貿易・投資，安全保障及びグッドガバナンスに関する米アフリカ閣僚級会合に出席
11月21日	フランス	ハメル警察庁長官・アフリカ警察機構総裁	第2回中東・北アフリカ地域警察・治安担当長官会合に出席
11月22日	スイス	アヤディ外務次官	ラング・スイス外務次官と共に第7回アルジェリア・スイス政治協議に出席
11月24日	ボリビア	ギトゥーニ・エネルギー大臣	大統領代理として第4回ガス輸出国フォーラム首脳会議に出席
11月28日	コートジボワール	メサヘル外務大臣	AU・EUサミットに出席。ガブリエル独外相等と会談
11月29日～30日	オーストリア	ギトゥーニ・エネルギー大臣	OPEC加盟国非加盟国フォローアップ閣僚級委員会，OPEC閣僚級会合に出席
11月29日	コートジボワール	ウーヤヒヤ首相	第5回AU・EUサミットに出席。エセブシ・チュニジア大統領，ルグンダ・ウガンダ首相，ラタス・エストニア首相，ミシ

			エル・ベルギー首相，シドゥウオ・ポーランド首相，ムーサ・ファキAU委員会委員長と会談。モロッコ国王モハメド6世と握手を交わした
11月30日	英国	ザアラーン公共事業・運輸大臣	第30回国際海事機関総会に出席

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
11月6日	リトアニア	スクセビチュウス外務副大臣	アヤディ外務次官と会談
11月8～9日	英国	リズビー首相特使	ウーヤヒヤ首相を表敬。メサヘル外務大臣及びユースフィー産業・鉱業相と会談
11月12日	フランス	ル・ドリアン外務・欧州大臣	第4回アルジェリア・フランス経済合同委員会に出席。ウーヤヒヤ首相を表敬。メサヘル外務大臣と会談。
11月12日	フランス	ル・メール財務・経済大臣	第4回アルジェリア・フランス経済合同委員会に出席。ウーヤヒヤ首相を表敬。ユースフィー産業・鉱業大臣と会談。
11月14～15日	スペイン	ロペス外務政務次官	来年に予定の第7回西アルジェリア・ハイレベル会合の準備のためアヤディ外務次官と会談。ウーヤヒヤ首相，メサヘル外務大臣を表敬
11月15日	オランダ	ギスケス会計検査院院長	ベンマルフ会計検査院院長と会談
11月19日	カメルーン	ゴオ運輸大臣	ザアラーン公共事業・運輸大臣と会談
11月22日	デンマーク	マルグレーテ2世女王	トランジットのためアルジェ空港着。ベンサラ国民評議会議長が接遇
11月25～	ポーランド	ヴァシチコフス	ウーヤヒヤ首相を表敬。メサヘ

26日		キ外務大臣	ル外相と会談。経済協力合同委員会設置の合意書に署名
11月26日	デンマーク	マルグレーテ2世女王	トランジットのためアルジェ空港着。ブハジャ国民議会議長、メサヘル外務大臣が接遇。
11月27日	ベトナム	ハ建設大臣	第11回越アルジェリア合同委員会をユースフィー産業・鉱業大臣と共に主催。ウーヤヒヤ首相を表敬
11月28日	アゼルバイジャン	アリザデフ科学アカデミー長官	ハジャル高等教育相と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬